

沼倉昌明さん『国際手話』（1月10日配信）

国際手話についてお話ししたいと思います。

国際手話というのは、世界各国で違う手話の、いいところ取りをしてまとめたものです。話し相手の国の手話が分からなかったとしても、国際手話がわかればやり取りができます。顔の表情や頷き、間（ま）なども国際手話では大事なポイントです。

みなさんはエスペラント語って知っているでしょうか？世界中で通じるようにとある人が考え出した言葉です。ですが、残念ながら広まっています。なぜなら、とても難しいからです。例えば、「小さい」という言葉、エスペラント語では「マルグランダ」と言うらしいんです。国際手話だと、この表現ですんでしまいます。どちらが簡単だと思いますか？国際手話ですよ。国際手話は、覚えるのも簡単だと思います。

デフリンピックの運営の時には、各国のろう者が集まって話し合いをするわけですが、その時には国際手話です。英語はありません。国際手話だけ会議を進めます。例えば金銭面や国同士の交渉、全て国際手話でのやり取りです。すごいですよね。

オリンピックは「平和の祭典」と言われています。パラリンピックは「人間の可能性の祭典」、ではデフリンピックはと言うと、私は「コミュニケーションの可能性の祭典」だと思っています。そう思いませんか？